

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（11月定例会）
開催日時	令和7年11月28日（金）午後2時から午後3時30分まで
開催場所	田無第二庁舎5階会議室
出席者	委員：川原議長、斉藤委員、伊尻委員、岩穴口委員、大宮委員、堀田委員、河野委員、高橋委員、田口委員 事務局：大内地域学習推進課長、上加世田主事、石島主事
議題	（1）第4ブロック研修会振り返りについて （2）今後の活動について （3）その他
配付資料	資料1 社会教育委員の会議 今後の活動について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

議題（1） 第4ブロック研修会振り返りについて

●第4ブロック研修会を振り返って、委員各位より意見及び感想の発表。

- 委員：各団体でつながりづくりを継続することに苦労していることが伺えた。
また、私自身の活動の中で、隣の団体が何をしているか見え辛いところがあり、横のつながりが見えるようにすると良いと思った。
- 委員：他市とお互いに交流ができ、非常に価値のある研修会となったと思う。
ただ、研修中に避難訓練の放送が入ってしまったのはどうにか止めて欲しかった。
また、他市にも遺跡があるので、そこにも触れて欲しかった。
- 委員：他市からは、商店街やPTAの活動におけるつながりの創出の話があり参考になった。
当市及び近隣市は、同種の遺跡が分布し、人の動きが流動的な地域なので、遺跡含めて横のつながりを広げていくことが生涯学習にとって重要だと考える。
- 委員：私のグループは欠席者もいて参加市に偏りがあり、もっと色んな市の意見が聞きたかった。
- 委員：社会教育は、「教育する」というよりも、まず「やりたい」と思う人が集まって、「楽しみたい」という気持ちをメンバーと共有し、その結果「学び」に繋がるのだと思った。
グループディスカッションについては、時間が短く、喋りすぎる方にどう対応するか、ファシリテーションのやり方は検討が必要だと思う。
- 委員：呼ばれたい名前が成功したと思う。ただ、アンケートの回収率が低い。その場で紙に書いてもらうなど工夫が必要。
内容については、PTAが人材育成の場であると改めて感じた。ただ、今後PTAがなくなっていく中でどのように地域の核となる人を育てるかが課題だったと思った。

- 委員：グループの島の座席が狭いと意見があったが、狭いことで逆に距離が近くて話しやすく、良かったと思う。
- 委員：基調講演の内容を受けて、事務局の方から、行政として地域の人とのつながりづくり、そしてそれを行う行政側の人材育成が課題であると話があった。
- 委員：研修会には参加できなかったが、他市と情報共有ができたとの感想を聞いて、学校の構造に似ていると思った。学校に置き換えても、隣の学校が何をやっているかなどは見え辛い
ため、一緒にできることは共有し、それぞれの活動に展開していくと良いと思う。
- 委員：大きな紙に書きながらやると良い、という意見もあったが、ホワイトボードを活用すると良いのではと思った。
- 議長：座席の配置の意見があったが、学校でも先生の机や教室の後ろの黒板をどう活用するかという議論がある。配置の影響は大きいので、検討の余地は大いにある。
- 委員：各グループのまとめシートを見ると、「ゆるく、楽しく活動する」、「行政との関わり」、「社会教育主事の在り方」、「人材育成」といったキーワードがあった。
また、「広報活動」をどうするか。下野谷遺跡を知らない人も多いので、他の活動含めどう周知していくか、これらキーワードについて当市でも考えていけると良い。

議題（２）今後の活動について

●事務局より、社会教育委員の今後の活動について、資料１「社会教育委員の会議 今後の活動」にそって下記の通り提案。

<活動内容について>

○今年度の活動：

- ・今年度の活動内容については、前期の提言に基づき、当課としても特に重要性を感じている。「情報発信の強化」に向けた検討や協議を進めていくことを提案する。
- ・特に、当市ホームページの「生涯学習人材情報提供事業」のページ（下記ツリー参照。）の見直しについて、委員の意見を頂戴していきたい。
（ツリー： トップページ／学ぶ・楽しむ／生涯学習／生涯学習人材情報提供事業）

○令和８年４月以降の活動：

- ・４月以降の活動内容については、情報発信の強化以外の活動についても並行して検討していくことを提案する。

<活動スケジュールについて>

○今後の活動スケジュールについて、下記のとおり提案する。

- ・令和７年１２月の定例会にて、情報発信の課題点の洗い出しを行う。並行して、令和８年４月以降の活動内容についても案出しを行う。
- ・令和８年３月に、上記課題を踏まえ見直したホームページを公開する。並行して、令和８年４月以降の活動内容について方針を決定する。

●議長：事務局からの提案について、何か意見はあるか。

○委員：情報発信の強化について、対象はオンラインの媒体のみか。

- 事務局：今年度はホームページのみを対象と想定している。
- 委員：ページのツリー構成と、アクセス数などの情報は提供してもらえるのか。
- 事務局：提供は可能である。
- 委員：公民館だよりなど、紙ベースの広報も重要だと考える。デジタルメディアとの組み合わせなど、クロスメディアの検討も必要。
- 委員：「生涯学習人材情報提供事業」のページについて、情報がPDFで掲載されており、必要な情報を探すことが難しい。また、提案のスケジュールは期間が短いと思うが、どこまでやることを想定しているのか。
- 事務局：ホームページ全体のバランスもあり、全く異なるもの作るのは難しいが、情報のアクセス容易化などについて、今の枠組みの中で取組むことを想定している。
- 委員：他自治体の生涯学習の情報サイトを見ると、掲載情報としては、講座情報、人材、施設などが多い。生涯学習に関するポータルサイト（入口）があり、そこから各情報にリンクするなど、全体構成も含めて時間をかけて取り組むのが良いと考える。
- 議長：情報発信については、令和8年3月までに公開可能なものは取り込み、それに間に合わないものは4月以降も取り組む、という方針は考えられないか。
- 事務局：今年度中に終えねばならないということではない。他の案件と並行して、情報発信について4月以降も検討して行きたいと思う。
- 委員：他自治体のポータルサイトがどうなっているか、次回比較できるようにしてほしい。
- 議長：ポータルサイトについては、そこに入りさえすればすべての情報にリンクするよう、行政としてワンストップで考えていかないといけない。
- 委員：この自治体のホームページを目標にしたい、など何かモデルはあるか。
- 事務局：まだ想定はないが、今後、紙媒体も含めて良いモデルがあればぜひ提案していただきたい。
- 議長：行政以外の市内の企業等で、市の情報発信に注力しているところはあるのか。
- 委員：企業の例は分からないが、情報発信については行政からだけでなく、行政以外と双方向で発信していくことも良いと考える。
- 議長：今後の活動について、委員の意見も踏まえ、今年度は情報発信の強化の検討、そして令和8年4月以降の活動内容については、3月までに方針を決定する、としたいがよろしいか。

一同、異議なし

議題（３） その他

- 事務局より事務連絡を実施。

次回会議

日時 令和 7 年12月19日（金）午後 2 時

場所 田無第二庁舎 4 階会議室